

令和2年度国立大学法人運営費交付金 「成果を中心とする実績状況に基づく配分」について

1. 成果を中心とする実績状況に基づく配分の概要

国立大学法人及び大学共同利用機関法人（以下、「国立大学法人等」という。）においては、国立大学法人運営費交付金において、各国立大学法人等の機能強化に向けた取組を支援するため、3つの重点支援の枠組による評価に基づく配分のほか、令和元年度予算から、各国立大学法人等の成果や実績を相対的に評価する「成果を中心とする実績状況に基づく配分」の仕組みを導入している。

令和2年度においては、各国立大学法人等の経営改革を推進するとともに、教育・研究の更なる質の向上を図る観点から、令和元年度に活用した指標に加え、教育及び研究に関する実績を評価するための指標を導入して評価を行った。その際、学問分野ごとの特性を踏まえた評価となるよう、教育及び研究に係る指標については、各国立大学法人等の実績を学系（※）ごとに分けて評価を行った。その上で、教育研究の安定性・継続性と改革インセンティブの一層の向上などを総合的に勘案し、この仕組みによる今年度の配分対象経費は850億円、配分率は85%～115%とした。

教育及び研究に係る指標については、関係団体とも検討を重ね、文部科学省において設定したものであるが、これらは、各国立大学法人等がそれぞれの実情の中で積極的に取り組んでいる教育改善や、強み・特色を更に伸ばす研究力強化の取組の多種多様な成果のうち、数値等に表される一部を参照するものであり、これらだけで各国立大学法人等の教育及び研究に係る取組の成果全体を映し出すことは困難である等の課題もあると認識している。引き続き、各国立大学法人等の自律的な組織経営や社会変化に応じた教育・研究の改革を推進するための指標、評価のあり方について検討を重ねていく必要があると考えている。

※学系…国立大学法人評価の中で、（独）大学改革支援・学位授与機構が実施する教育研究に関する評価において実施される「現況分析」における評価単位。（人文科学系、社会科学系、理学系、工学系、農学系、保健系、教育系、総合文系、総合理系、総合融合系）

2. 配分指標

令和2年度における「成果を中心とする実績状況に基づく配分」に活用する指標及び概要は、次のとおり。なお、各指標の算定方法、データの定義等については、各項目の頁に詳細を記載している。

【配分指標（13指標）】

○卒業・修了者の就職・進学等の状況■

大学の教育による成果として、卒業・修了者がどれだけ就職、あるいは進学しているかについて、卒業・修了者数当たりの就職・進学等の状況に基づき、学系（※）ごとに評価

○博士号授与の状況■

特に博士課程における学修成果として、学位をどれだけ授与しているかについて、博士課程入学定員当たりの学位授与数の状況に基づき、学系ごとに評価

○カリキュラム編成上の工夫の状況■

各大学における教育課程において、教育内容の充実に資する取組や学修成果の質保証に資する取組がどれだけ行われているかについて、カリキュラム編成上の工夫の状況に基づき、学系ごとに評価

○若手研究者比率

各機関の研究環境の向上・改善の観点から、若手研究者がどれだけ在籍しているかについて、常勤教員数当たりの若手研究者数の状況に基づき、学系ごとに評価

○運営費交付金等コスト当たり TOP10%論文数※

各機関が質の高い研究成果をどれだけ算出しているかについて、運営費交付金など基盤的経費投入コスト当たりの被引用数 TOP10%の論文の件数に基づき、評価

※重点支援③を選択した国立大学及び大学共同利用機関を対象

○常勤教員当たり研究業績数■

各機関の研究活動の結果として、どれだけの成果を創出しているかについて、常勤教員当たりの研究業績数に基づき、学系ごとに評価

○常勤教員当たり科研費受入件数・受入額■

各機関の研究活動や研究環境整備の成果として、科研費をどれだけ獲得しているかについて、常勤教員当たりの科研費獲得額及び件数の状況に基づき、学系ごとに評価

○常勤教員当たり受託・共同研究等受入額

各機関がどれだけ研究教育資金を獲得しているかについて、常勤教員当たりの受託・共同研究、受託事業受入額の状況に基づき、重点支援の枠組ごとに、学系ごとの評価の要素を加味して評価

○人事給与マネジメント改革状況

各機関における人事給与マネジメント改革の進捗状況について、人事計画の策定状況、全学統一的な業績評価の実施状況、外部資金の活用状況を各法人へ調査し、その回答に基づき、重点支援の枠組ごとに評価

○ダイバーシティ環境醸成の状況 ■

各機関におけるダイバーシティ環境がどれだけ醸成されているかについて、外国人教員・女性教員の比率や留学生・社会人学生・障害学生の比率、障害者雇用比率に基づき、重点支援の枠組ごとに評価

○会計マネジメント改革状況

各機関における会計マネジメント改革の進捗状況について、学内のマネジメント、学外への情報開示、産学連携推進に向けた環境整備の取組を各法人へ調査し、その回答に基づき、重点支援の枠組ごとに評価

○寄附金等の経営資金獲得実績

各機関がどれだけ経営資金を獲得しているかについて、教員一人当たりの寄附金及び雑収入の獲得実績に基づき、重点支援の枠組ごとに評価

○施設マネジメント改革状況

各機関における施設マネジメント改革の進捗状況について、施設の有効活用、適切な維持管理、サステナブル・キャンパスの形成に向けた取組状況を各法人へ調査し、その回答に基づき、重点支援の枠組ごとに評価

■ は令和2年度から新たに活用する指標

(参考) 令和元年度予算と令和2年度予算における配分指標の新旧対照表



3. 各指標の配分率

各指標の配分率については、指標の算定方法（各項目の頁を参照）により得られた数値に基づき、重点支援評価の枠組ごとに、以下のとおり設定する。

【配分率】

数値が重点支援評価の枠組内において

- 上位 10%以上に位置 : 115%
- 20%以上 : 110%
- 30%以上 : 105%
- 50%以上 : 100%
- 70%以上 : 95%
- 80%以上 : 90%
- 80%を下回る : 85%

なお、配分額は、運営費交付金の予算規模に占める各機関のシェア率を指標ごとの評価対象経費に乗じて得られた額（配分基礎額）に、各指標の配分率を乗じるにより算定している。

成果を中心とする実績状況に基づく配分 指標別配分率 総表(1/2)

【重点支援①】

大学名	配分率												
	卒業・修了者の就職・進学等の状況	博士号授与の状況	カリキュラム編成上の工夫の状況	若手研究者の雇用状況	常勤教員当たり研究業績数	常勤教員当たり科研究費受入実績	常勤教員当たり受託・共同研究受入額	運営費交付金等コスト当たりTOP10%論文数	人事給与マネジメント改革推進状況	ダイバーシティ環境醸成の状況	会計マネジメント改革推進状況	常勤教員当たり経営資金獲得実績	施設マネジメント改革推進状況
北海道教育大学	95%	100%	115%	100%	110%	85%	85%	-	95%	90%	105%	85%	100%
室蘭工業大学	90%	115%	95%	95%	95%	85%	85%	-	105%	85%	95%	95%	100%
小樽商科大学	110%	100%	115%	100%	85%	95%	85%	-	105%	115%	115%	90%	100%
帯広畜産大学	85%	110%	115%	110%	105%	95%	95%	-	95%	95%	100%	115%	110%
旭川医科大学	115%	100%	85%	115%	85%	85%	95%	-	85%	95%	85%	105%	85%
北見工業大学	90%	115%	95%	100%	90%	85%	90%	-	105%	115%	85%	90%	95%
弘前大学	100%	100%	105%	110%	105%	100%	105%	-	95%	95%	115%	100%	100%
岩手大学	90%	95%	105%	85%	105%	90%	100%	-	115%	110%	100%	95%	110%
宮城教育大学	95%	100%	95%	85%	90%	90%	85%	-	85%	85%	95%	85%	95%
秋田大学	100%	105%	100%	85%	100%	90%	95%	-	100%	110%	95%	100%	100%
山形大学	110%	95%	85%	100%	90%	95%	115%	-	95%	95%	105%	105%	110%
福島大学	115%	85%	85%	100%	85%	90%	115%	-	100%	95%	95%	100%	85%
茨城大学	100%	85%	100%	90%	85%	90%	100%	-	115%	85%	100%	85%	95%
宇都宮大学	105%	85%	100%	95%	100%	100%	95%	-	100%	100%	100%	95%	85%
群馬大学	95%	95%	90%	115%	100%	105%	100%	-	115%	85%	105%	95%	100%
埼玉大学	95%	95%	100%	95%	100%	110%	90%	-	105%	100%	85%	90%	105%
横浜国立大学	95%	100%	105%	100%	100%	115%	110%	-	95%	115%	110%	95%	105%
新潟大学	115%	95%	95%	95%	95%	115%	100%	-	100%	85%	90%	95%	95%
長岡技術科学大学	100%	115%	115%	100%	115%	110%	115%	-	100%	110%	100%	100%	110%
上越教育大学	85%	100%	115%	90%	110%	100%	85%	-	100%	95%	100%	85%	95%
富山大学	105%	105%	85%	85%	100%	95%	90%	-	115%	85%	95%	95%	115%
福井大学	115%	85%	95%	95%	85%	105%	105%	-	100%	100%	115%	95%	115%
山梨大学	100%	100%	90%	115%	85%	95%	85%	-	95%	85%	85%	110%	95%
信州大学	110%	100%	95%	110%	110%	105%	110%	-	115%	100%	85%	100%	105%
岐阜大学	105%	85%	100%	100%	100%	100%	100%	-	100%	105%	100%	115%	115%
静岡大学	110%	115%	100%	105%	95%	105%	100%	-	95%	90%	95%	85%	95%
浜松医科大学	105%	105%	95%	85%	110%	110%	105%	-	95%	105%	100%	115%	115%
愛知教育大学	85%	85%	95%	100%	115%	100%	85%	-	115%	85%	115%	100%	110%
名古屋工業大学	100%	105%	115%	95%	115%	110%	115%	-	115%	100%	115%	105%	100%
豊橋技術科学大学	95%	95%	95%	110%	115%	115%	115%	-	105%	115%	100%	105%	105%
三重大学	110%	95%	85%	85%	105%	95%	110%	-	115%	95%	100%	100%	100%
滋賀大学	115%	85%	85%	110%	95%	95%	90%	-	85%	110%	95%	85%	110%
滋賀医科大学	90%	105%	85%	90%	115%	100%	110%	-	85%	105%	95%	110%	95%
京都教育大学	85%	100%	115%	95%	105%	105%	85%	-	95%	95%	95%	110%	115%
京都工芸繊維大学	105%	100%	115%	90%	100%	85%	100%	-	115%	100%	100%	85%	105%
大阪教育大学	85%	100%	115%	85%	85%	100%	95%	-	85%	115%	115%	95%	85%
兵庫教育大学	85%	110%	115%	95%	95%	95%	85%	-	100%	105%	90%	90%	110%
奈良教育大学	85%	100%	95%	95%	110%	115%	100%	-	95%	100%	115%	85%	100%
和歌山大学	110%	85%	100%	85%	95%	100%	90%	-	95%	105%	85%	85%	85%
鳥取大学	100%	90%	85%	115%	90%	85%	90%	-	100%	100%	115%	90%	95%
島根大学	100%	95%	90%	105%	95%	85%	95%	-	100%	85%	105%	90%	105%
山口大学	100%	90%	85%	100%	95%	100%	95%	-	115%	95%	110%	115%	105%
徳島大学	95%	100%	85%	115%	90%	110%	100%	-	105%	90%	105%	110%	100%
鳴門教育大学	85%	100%	85%	85%	95%	100%	85%	-	85%	110%	105%	85%	85%
香川大学	100%	90%	100%	90%	100%	95%	100%	-	95%	100%	90%	100%	115%
愛媛大学	95%	110%	105%	110%	100%	100%	100%	-	115%	90%	95%	115%	85%
高知大学	95%	90%	100%	95%	85%	90%	95%	-	85%	100%	115%	100%	100%
福岡教育大学	85%	100%	115%	95%	100%	95%	85%	-	100%	95%	115%	95%	85%
佐賀大学	100%	100%	115%	105%	95%	85%	95%	-	85%	100%	85%	100%	100%
長崎大学	95%	110%	95%	100%	95%	110%	105%	-	95%	110%	100%	100%	95%
熊本大学	90%	90%	100%	85%	110%	115%	105%	-	115%	95%	110%	110%	100%
大分大学	95%	85%	90%	105%	85%	85%	110%	-	85%	85%	95%	95%	115%
宮崎大学	85%	110%	90%	105%	90%	85%	95%	-	115%	85%	105%	110%	100%
鹿児島大学	90%	95%	90%	90%	85%	95%	95%	-	85%	90%	85%	105%	110%
琉球大学	85%	85%	100%	85%	85%	85%	110%	-	85%	90%	85%	85%	105%

成果を中心とする実績状況に基づく配分 指標別配分率 総表(2/2)

【重点支援②】

大学名	配分率												
	卒業・修了者の就職・進学等の状況	博士号授与の状況	カリキュラム編成上の工夫の状況	若手研究者の雇用状況	常勤教員当たり研究業績数	常勤教員当たり科研究費受入実績	常勤教員当たり受託・共同研究受入額	運営費交付金等コスト当たりTOP10%論文数	人事給与マネジメント改革推進状況	ダイバーシティ環境醸成の状況	会計マネジメント改革推進状況	常勤教員当たり経営資金獲得実績	施設マネジメント改革推進状況
筑波技術大学	90%	100%	85%	85%	85%	85%	85%	-	100%	110%	85%	85%	85%
東京医科歯科大学	85%	100%	95%	110%	100%	105%	100%	-	115%	100%	95%	110%	90%
東京外国語大学	105%	85%	100%	95%	85%	100%	85%	-	100%	100%	115%	100%	110%
東京学芸大学	85%	105%	105%	85%	95%	95%	95%	-	90%	95%	110%	100%	85%
東京芸術大学	95%	100%	115%	95%	115%	90%	115%	-	85%	95%	100%	105%	110%
東京海洋大学	100%	110%	90%	90%	90%	85%	95%	-	95%	85%	95%	95%	90%
お茶の水女子大学	95%	90%	115%	100%	95%	90%	105%	-	105%	105%	115%	110%	85%
電気通信大学	100%	90%	115%	100%	105%	100%	95%	-	110%	85%	110%	85%	110%
奈良女子大学	110%	85%	85%	90%	85%	85%	90%	-	100%	95%	90%	90%	95%
九州工業大学	95%	100%	95%	85%	110%	95%	110%	-	105%	85%	100%	90%	100%
鹿屋体育大学	100%	95%	95%	105%	95%	95%	90%	-	90%	90%	95%	95%	95%
政策研究大学院大学	115%	115%	100%	95%	100%	115%	110%	-	85%	115%	95%	115%	100%
総合研究大学院大学	85%	105%	85%	100%	90%	110%	85%	-	85%	100%	100%	85%	95%
北陸先端科学技術大学院大学	90%	85%	90%	110%	110%	100%	100%	-	110%	110%	90%	100%	110%
奈良先端科学技術大学院大学	110%	95%	100%	115%	100%	110%	100%	-	100%	90%	85%	95%	115%

【重点支援③】

大学名	配分率												
	卒業・修了者の就職・進学等の状況	博士号授与の状況	カリキュラム編成上の工夫の状況	若手研究者の雇用状況	常勤教員当たり研究業績数	常勤教員当たり科研究費受入実績	常勤教員当たり受託・共同研究受入額	運営費交付金等コスト当たりTOP10%論文数	人事給与マネジメント改革推進状況	ダイバーシティ環境醸成の状況	会計マネジメント改革推進状況	常勤教員当たり経営資金獲得実績	施設マネジメント改革推進状況
北海道大学	85%	95%	100%	100%	100%	95%	95%	85%	85%	85%	110%	85%	85%
東北大学	90%	100%	85%	110%	100%	100%	100%	100%	100%	85%	85%	85%	110%
筑波大学	95%	105%	105%	90%	95%	85%	95%	90%	115%	110%	95%	105%	85%
千葉大学	100%	110%	115%	100%	85%	85%	90%	90%	115%	95%	110%	85%	85%
東京大学	85%	100%	85%	115%	110%	110%	110%	110%	100%	100%	95%	110%	100%
東京農工大学	95%	115%	115%	95%	110%	100%	110%	95%	85%	105%	85%	100%	110%
東京工業大学	105%	85%	95%	110%	100%	95%	105%	115%	95%	85%	110%	100%	100%
一橋大学	110%	85%	95%	85%	95%	110%	85%	100%	95%	115%	95%	115%	90%
金沢大学	115%	100%	100%	85%	85%	95%	85%	85%	115%	100%	110%	85%	100%
名古屋大学	100%	85%	85%	100%	95%	100%	100%	110%	85%	95%	95%	100%	100%
京都大学	85%	95%	95%	100%	115%	115%	100%	105%	85%	90%	95%	110%	100%
大阪大学	100%	95%	115%	105%	105%	105%	115%	100%	100%	110%	100%	95%	115%
神戸大学	100%	110%	95%	95%	100%	90%	95%	100%	100%	100%	95%	90%	100%
岡山大学	110%	100%	100%	95%	85%	85%	85%	95%	100%	95%	115%	95%	95%
広島大学	95%	85%	100%	85%	90%	85%	85%	85%	115%	100%	100%	100%	85%
九州大学	85%	90%	85%	85%	85%	100%	100%	95%	100%	85%	100%	95%	110%

【大学共同利用機関法人】

機関名	配分率												
	卒業・修了者の就職・進学等の状況	博士号授与の状況	カリキュラム編成上の工夫の状況	若手研究者の雇用状況	常勤教員当たり研究業績数	常勤教員当たり科研究費受入実績	常勤教員当たり受託・共同研究受入額	運営費交付金等コスト当たりTOP10%論文数	人事給与マネジメント改革推進状況	ダイバーシティ環境醸成の状況	会計マネジメント改革推進状況	常勤教員当たり経営資金獲得実績	施設マネジメント改革推進状況
人間文化研究機構	-	-	-	85%	115%	105%	95%	100%	105%	115%	95%	105%	115%
自然科学研究機構	-	-	-	115%	95%	95%	85%	95%	115%	85%	105%	95%	85%
高エネルギー加速器研究機構	-	-	-	95%	85%	85%	105%	115%	95%	95%	85%	85%	115%
情報・システム研究機構	-	-	-	105%	105%	115%	115%	105%	85%	105%	115%	115%	115%

運営費交付金等コスト当たりTOP10%論文数

【重点支援③】

大学名	運営費交付金等+ 科研費 (億円)	TOP10%論文数 (整数かつ) (編)	運営費交付金等 コスト当たり TOP10%論文数	配分率
北海道大学	403.868	1,083	2.682	85%
東北大学	535.903	1,696	3.165	100%
筑波大学	381.592	1,048	2.746	90%
千葉大学	190.546	558	2.928	90%
東京大学	991.690	3,796	3.828	110%
東京農工大学	71.043	217	3.054	95%
東京工業大学	249.500	1,156	4.633	115%
一橋大学	60.887	27	0.443	100%
金沢大学	167.495	390	2.328	85%
名古屋大学	367.772	1,530	4.160	110%
京都大学	648.934	2,400	3.698	105%
大阪大学	521.680	1,816	3.481	100%
神戸大学	225.209	730	3.241	100%
岡山大学	189.021	592	3.132	95%
広島大学	261.865	636	2.429	85%
九州大学	450.412	1,413	3.137	95%

【大学共同利用機関法人】

機構名	運営費交付金等+ 科研費 (億円)	TOP10% 論文数 (整数かつ)	運営費交付金等 コスト当たり TOP10%論文数	配分率
人間文化研究機構	116.774	22	0.188	100%
自然科学研究機構	292.789	471	1.609	95%
高エネルギー加速器研究機構	164.988	370	2.243	115%
情報・システム研究機構	213.853	358	1.674	105%

人事給与とマネジメント改革推進状況（1/2）

大学名	(1) 人事計画の策定状況【配点5点】					(2) 全学統一的な業績評価の実施状況【配点4点】						(3) 外部資金の活用状況【配点3点】				合計	配分率
	1. 適正な年齢構成の実現			2. 人材の多様化(ダイバーシティ)の推進		1. 教員の業績を適切に評価するとともに処遇に反映するための取組			2. 新年俸制の導入について			1. 人件費への外部資金の活用状況		2. クロスアポイントメント制度の活用状況			
	①適正な年齢構成を定めている	②中長期的な雇用計画を策定している	③年齢によらず実績を客観的に評価し、能力の高い教員を登用する仕組み	①多様な人材の獲得を目指した人事計画、人事方針	②④①で回答した計画が順調に進んでいる	①学術分野の特性に応じた評価の仕組み	②年齢や職位に関わらず優れた業績を適切に評価、処遇に反映	③給与への反映以外の活用	④評価実施体制【a.評価作業の負担軽減、b.評価者に対する研修等を実施、c.評価の透明性の確保】	①新年俸制を導入	②月給制と比較して、より適切に業績評価の結果を給与へ反映させる仕組み	①活用あり	①民間派遣	②インセンティブ付与あり	受入		
北海道教育大学	1	1	1	0.5	0.5	0.5	1	1	0.5	0	0	1	0	0	0	8.0	95%
室蘭工業大学	1	2	1	0.5	0.5	0.5	1	1	0.5	0	0	0	0	0.5	1	9.5	105%
小樽商科大学	1	2	1	0.5	0.5	0.5	1	1	0.5	0	0	0	0	0.5	1	9.5	105%
帯広畜産大学	1	2	1	0.5	0.5	0.5	1	1	0	0.5	0.5	0	0	0	0	8.5	95%
旭川医科大学	0	0	0	0.5	0	0.5	1	1	0.5	0	0	0	0	0	1	4.5	85%
北見工業大学	1	2	1	0.5	0.5	0.5	1	1	0.5	0.5	0.5	0	0	0.5	0	9.5	105%
弘前大学	1	2	1	0.5	0.5	0.5	1	1	0.5	0	0	0	0	0	0	8.0	95%
岩手大学	1	2	1	0.5	0.5	0.5	1	1	0.5	0.5	0.5	0	0	0	1	10.0	115%
宮城教育大学	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0.5	0	0	0	0	0	2.5	85%
秋田大学	1	2	1	0.5	0.5	0.5	1	1	0.5	0	0	0	0	0	1	9.0	100%
山形大学	1	2	1	0.5	0.5	0.5	1	0	0.5	0	0	0	0	0	1	8.0	95%
福島大学	1	2	1	0.5	0.5	0.5	1	1	0.5	0	0	1	0	0	0	9.0	100%
茨城大学	1	2	1	0.5	0.5	0.5	1	1	0.5	0	0	0	0.5	0.5	1	10.0	115%
宇都宮大学	1	2	1	0.5	0.5	0.5	1	1	0.5	0.5	0.5	0	0	0	0	9.0	100%
群馬大学	1	2	1	0.5	0.5	0.5	1	1	0.5	0.5	0.5	1	0	0	0	10.0	115%
埼玉大学	1	2	1	0.5	0.5	0.5	1	1	0.5	0	0	0	0	0.5	1	9.5	105%
横浜国立大学	1	2	1	0.5	0.5	0.5	1	1	0.5	0	0	0	0	0	0	8.0	95%
新潟大学	1	2	1	0.5	0.5	0.5	1	1	0.5	0.5	0.5	0	0	0	0	9.0	100%
長岡技術科学大学	1	2	1	0.5	0.5	0.5	1	1	0.5	0	0	0	0	0.5	1	9.0	100%
上越教育大学	1	2	1	0.5	0.5	0.5	1	1	0.5	0.5	0.5	0	0	0	0	9.0	100%
富山大学	1	2	1	0.5	0.5	0.5	1	1	0.5	0.5	0.5	0	0	0	1	10.0	115%
福井大学	1	2	1	0.5	0.5	0.5	1	1	0.5	0	0	0	0	0	1	9.0	100%
山梨大学	1	2	1	0.5	0.5	0.5	1	1	0	0	0	0	0	0	1	8.5	95%
信州大学	1	2	1	0.5	0.5	0.5	1	1	0.5	0.5	0.5	0	0	0.5	1	10.5	115%
岐阜大学	1	2	1	0.5	0.5	0.5	1	1	0.5	0.5	0.5	0	0	0	0	9.0	100%
静岡大学	1	2	1	0.5	0.5	0	1	0	0.5	0	0	1	0	0	1	8.5	95%
浜松医科大学	1	2	1	0.5	0.5	0.5	1	1	0.5	0	0	0	0	0	0	8.0	95%
愛知教育大学	1	2	1	0.5	0.5	0.5	1	1	0.5	0.5	0.5	0	0	0.5	1	10.5	115%
名古屋工業大学	1	2	1	0.5	0.5	0.5	1	1	0.5	0.5	0.5	0	0	0.5	1	10.5	115%
豊橋技術科学大学	1	2	1	0.5	0.5	0.5	1	1	0.5	0	0	0	0.5	0	1	9.5	105%
三重大学	1	2	1	0.5	0.5	0.5	1	1	0.5	0	0	1	0	0	1	10.0	115%
滋賀大学	1	1	1	0.5	0.5	0.5	1	0	0.5	0	0	1	0	0	0	7.0	85%
滋賀医科大学	0	2	1	0.5	0.5	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	6.0	85%
京都教育大学	1	2	1	0.5	0.5	0.5	1	1	0.5	0	0	0	0	0	0	8.0	95%
京都工芸繊維大学	1	2	1	0.5	0.5	0.5	1	1	0.5	0	0	0	0.5	0.5	1	10.0	115%
大阪教育大学	1	1	1	0.5	0.5	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	5.0	85%
兵庫教育大学	1	2	1	0.5	0.5	0.5	1	1	0.5	0	0	0	0	0	1	9.0	100%
奈良教育大学	1	2	1	0.5	0.5	0.5	1	1	0.5	0	0	0	0	0	0	8.0	95%
和歌山大学	0	2	1	0.5	0.5	0.5	1	1	0.5	0.5	0.5	0	0	0.5	0	8.5	95%
鳥取大学	1	2	1	0.5	0.5	0.5	1	1	0.5	0	0	0	0	0	1	9.0	100%
島根大学	1	1.5	1	0.5	0.5	0.5	1	1	0.5	0.5	0.5	0	0	0.5	0	9.0	100%
山口大学	1	2	1	0.5	0.5	0.5	1	1	0.5	0	0	1	0	0	1	10.0	115%
徳島大学	1	2	1	0.5	0.5	0.5	1	1	0.5	0	0	0	0	0.5	1	9.5	105%
鳴門教育大学	0	1	1	0.5	0.5	0.5	1	1	0.5	0	0	0	0	0	0	6.0	85%
香川大学	1	2	1	0.5	0.5	0.5	1	1	0.5	0	0	0	0	0	0	8.0	95%
愛媛大学	1	2	1	0.5	0.5	0.5	1	1	0	0	0	1	0	0.5	1	10.0	115%
高知大学	0	0	1	0.5	0.5	0.5	1	1	0.5	0	0	0	0	0.5	1	6.5	85%
福岡教育大学	1	2	1	0.5	0.5	0.5	1	1	0.5	0.5	0.5	0	0	0	0	9.0	100%
佐賀大学	0	1	1	0.5	0	0.5	1	1	0	0.5	0.5	0	0	0.5	1	7.5	85%
長崎大学	0	0	1	0.5	0.5	0.5	1	1	0.5	0.5	0.5	1	0	0.5	1	8.5	95%
熊本大学	1	2	1	0.5	0.5	0.5	1	1	0.5	0.5	0.5	0	0	0	1	10.0	115%
大分大学	1	2	1	0.5	0.5	0.5	1	0	0.5	0	0	0	0	0	0	7.0	85%
宮崎大学	1	2	1	0.5	0.5	0.5	1	1	0.5	0	0	1	0	0	1	10.0	115%
鹿児島大学	1	2	1	0.5	0.5	0.5	1	0	0	0	0	0	0	0.5	0	7.0	85%
琉球大学	0	0	1	0.5	0.5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2.0	85%

人事給与とマネジメント改革推進状況(2/2)

【重点支援②】

大学名	(1) 人事計画の策定状況【配点5点】					(2) 全学統一的な業績評価の実施状況【配点4点】					(3) 外部資金の活用状況【配点3点】					合計	配分率
	1. 適正な年齢構成の実現			2. 人材の多様化(ダイバーシティ)の推進		1. 教員の業績を適切に評価するとともに処遇に反映するための取組			2. 新年俸制の導入について		1. 人件費への外部資金の活用状況		2. クロスアポイントメント制度の活用状況				
	①適正な年齢構成を定めている	②中長期的な雇用計画を策定している	③年齢によらず実績を客観的に評価し、能力の高い教員を登用する仕組み	①多様な人材の獲得を目標とした人事計画、人事方針	②④で回答した計画が順調に進んでいる	①学術分野の特性に応じた評価の仕組み	②年齢や職位に関わらず優れた業績を適切に評価、処遇に反映	③給与への反映以外の活用	④評価実施体制【a.評価作業の負担軽減、b.評価者に対する研修等を実施、c.評価の透明性の確保】	①新年俸制を導入	②月給制と比較して、より適切に業績評価の結果を給与へ反映させる仕組み	①活用あり	①民間派遣 受入		②インセンティブ付与あり		
筑波技術大学	1	2	1	0.5	0.5	0.5	1	1	0.5	0	0	0	0	0	1	9.0	100%
東京医科歯科大学	1	2	1	0.5	0.5	0.5	1	1	0.5	0.5	0.5	1	0	0.5	1	11.5	115%
東京外国語大学	1	2	1	0.5	0.5	0.5	1	1	0.5	0	0	0	0	0	1	9.0	100%
東京学芸大学	1	1	1	0.5	0.5	0.5	1	0	0.5	0	0	0	0	0.5	0	6.5	90%
東京芸術大学	0	0	1	0.5	0.5	0.5	1	1	0.5	0	0	0	0	0	1	6.0	85%
東京海洋大学	1	2	1	0.5	0.5	0.5	1	0	0.5	0	0	0	0	0	1	8.0	95%
お茶の水女子大学	1	2	1	0.5	0.5	0.5	1	1	0.5	0.5	0.5	0	0	0	1	10.0	105%
電気通信大学	1	2	1	0.5	0.5	0.5	1	1	0.5	0.5	0.5	0	0.5	0	1	10.5	110%
奈良女子大学	1	2	1	0.5	0.5	0.5	1	1	0.5	0	0	0	0	0	1	9.0	100%
九州工業大学	1	2	1	0.5	0.5	0.5	1	1	0.5	0	0	1	0	0	1	10.0	105%
鹿屋体育大学	1	2	1	0.5	0	0.5	1	1	0.5	0	0	0	0	0	0	7.5	90%
政策研究大学院大学	0	0	1	0.5	0.5	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	5.0	85%
総合研究大学院大学	0	0	1	0.5	0.5	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	4.0	85%
北陸先端科学技術大学院大学	1	2	1	0.5	0.5	0.5	1	1	0.5	0.5	0.5	1	0	0	1	11.0	110%
奈良先端科学技術大学院大学	1	2	1	0.5	0.5	0.5	1	1	0.5	0	0	0	0	0	1	9.0	100%

【重点支援③】

大学名	(1) 人事計画の策定状況【配点5点】					(2) 全学統一的な業績評価の実施状況【配点4点】					(3) 外部資金の活用状況【配点3点】					合計	配分率
	1. 適正な年齢構成の実現			2. 人材の多様化(ダイバーシティ)の推進		1. 教員の業績を適切に評価するとともに処遇に反映するための取組			2. 新年俸制の導入について		1. 人件費への外部資金の活用状況		2. クロスアポイントメント制度の活用状況				
	①適正な年齢構成を定めている	②中長期的な雇用計画を策定している	③年齢によらず実績を客観的に評価し、能力の高い教員を登用する仕組み	①多様な人材の獲得を目標とした人事計画、人事方針	②④で回答した計画が順調に進んでいる	①学術分野の特性に応じた評価の仕組み	②年齢や職位に関わらず優れた業績を適切に評価、処遇に反映	③給与への反映以外の活用	④評価実施体制【a.評価作業の負担軽減、b.評価者に対する研修等を実施、c.評価の透明性の確保】	①新年俸制を導入	②月給制と比較して、より適切に業績評価の結果を給与へ反映させる仕組み	①活用あり	①民間派遣 受入		②インセンティブ付与あり		
北海道大学	0	0	1	0.5	0.5	0.5	1	0	0.5	0	0	1	0	0.5	1	6.5	85%
東北大学	1	2	1	0.5	0.5	0.5	1	1	0.5	0	0	1	0	0.5	1	10.5	100%
筑波大学	1	2	1	0.5	0.5	0.5	1	1	0.5	0.5	0.5	1	0.5	0	1	11.5	115%
千葉大学	1	2	1	0.5	0.5	0.5	1	1	0.5	0.5	0.5	1	0	0.5	1	11.5	115%
東京大学	1	2	1	0.5	0.5	0.5	1	1	0.5	0	0	1	0.5	0	1	10.5	100%
東京農工大学	0	0	1	0.5	0.5	0.5	1	1	0.5	0	0	0	0	0	0	5.0	85%
東京工業大学	1	2	1	0.5	0.5	0.5	1	1	0.5	0	0	0	0.5	0.5	1	10.0	95%
一橋大学	1	2	1	0.5	0.5	0.5	1	1	0.5	0	0	1	0	0	1	10.0	95%
金沢大学	1	2	1	0.5	0.5	0.5	1	1	0.5	0.5	0.5	1	0	0.5	1	11.5	115%
名古屋大学	0	0	1	0.5	0.5	0.5	1	1	0	0.5	0.5	0	0.5	0.5	1	7.5	85%
京都大学	1	2	1	0.5	0.5	0.5	1	1	0.5	0	0	0	0	0	1	9.0	85%
大阪大学	1	2	1	0.5	0.5	0.5	1	1	0.5	0	0	1	0.5	0.5	1	11.0	100%
神戸大学	1	2	1	0.5	0.5	0.5	1	1	0.5	0.5	0.5	0	0	0.5	1	10.5	100%
岡山大学	1	2	1	0.5	0.5	0.5	1	1	0.5	0.5	0.5	0	0	0.5	1	10.5	100%
広島大学	1	2	1	0.5	0.5	0.5	1	1	0.5	0.5	0.5	1	0	0.5	1	11.5	115%
九州大学	1	2	1	0.5	0.5	0.5	1	1	0.5	0	0	1	0	0.5	1	10.5	100%

【大学共同利用機関法人】

機構名	(1) 人事計画の策定状況【配点5点】					(2) 全学統一的な業績評価の実施状況【配点4点】					(3) 外部資金の活用状況【配点3点】					合計	配分率
	1. 適正な年齢構成の実現			2. 人材の多様化(ダイバーシティ)の推進		1. 教員の業績を適切に評価するとともに処遇に反映するための取組			2. 新年俸制の導入について		1. 人件費への外部資金の活用状況		2. クロスアポイントメント制度の活用状況				
	①適正な年齢構成を定めている	②中長期的な雇用計画を策定している	③年齢によらず実績を客観的に評価し、能力の高い教員を登用する仕組み	①多様な人材の獲得を目標とした人事計画、人事方針	②④で回答した計画が順調に進んでいる	①学術分野の特性に応じた評価の仕組み	②年齢や職位に関わらず優れた業績を適切に評価、処遇に反映	③給与への反映以外の活用	④評価実施体制【a.評価作業の負担軽減、b.評価者に対する研修等を実施、c.評価の透明性の確保】	①新年俸制を導入	②月給制と比較して、より適切に業績評価の結果を給与へ反映させる仕組み	①活用あり	①民間派遣 受入		②インセンティブ付与あり		
人間文化研究機構	1	1.5	1	0.5	0.5	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	6.5	105%
自然科学研究機構	1	2	1	0.5	0.5	0.5	1	0	0.5	0	0	0	0	0	0	7.0	115%
高エネルギー加速器研究機構	1	0	1	0.5	0	0	1	0	0.5	0	0	0	0	0	0	4.0	95%
情報・システム研究機構	0	0	1	0.5	0.5	0.5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3.5	85%

ダイバーシティ環境醸成の状況

【重点支援①】

大学名	偏差値 (平均)	配分率
北海道教育大学	47.640	90%
室蘭工業大学	41.133	85%
小樽商科大学	56.498	115%
帯広畜産大学	49.001	95%
旭川医科大学	49.145	95%
北見工業大学	54.818	115%
弘前大学	48.551	95%
岩手大学	54.305	110%
宮城教育大学	45.276	85%
秋田大学	54.375	110%
山形大学	49.460	95%
福島大学	48.951	95%
茨城大学	43.063	85%
宇都宮大学	51.758	100%
群馬大学	45.658	85%
埼玉大学	51.109	100%
横浜国立大学	54.915	115%
新潟大学	47.395	85%
長岡技術科学大学	53.359	110%
上越教育大学	48.681	95%
富山大学	46.579	85%
福井大学	50.742	100%
山梨大学	47.285	85%
信州大学	51.165	100%
岐阜大学	52.295	105%
静岡大学	48.361	90%
浜松医科大学	52.317	105%
愛知教育大学	42.539	85%
名古屋工業大学	50.489	100%
豊橋技術科学大学	58.350	115%
三重大学	48.984	95%
滋賀大学	53.220	110%
滋賀医科大学	52.289	105%
京都教育大学	50.217	95%
京都工芸繊維大学	50.700	100%
大阪教育大学	54.404	115%
兵庫教育大学	51.883	105%
奈良教育大学	51.625	100%
和歌山大学	52.266	105%
鳥取大学	50.421	100%
島根大学	47.385	85%
山口大学	48.597	95%
徳島大学	47.868	90%
鳴門教育大学	53.248	110%
香川大学	50.276	100%
愛媛大学	48.411	90%
高知大学	50.828	100%
福岡教育大学	49.259	95%
佐賀大学	51.266	100%
長崎大学	52.964	110%
熊本大学	49.580	95%
大分大学	46.893	85%
宮崎大学	46.161	85%
鹿児島大学	48.168	90%
琉球大学	47.877	90%

【重点支援②】

大学名	偏差値 (平均)	配分率
筑波技術大学	61.500	110%
東京医科歯科大学	50.277	100%
東京外国語大学	51.810	100%
東京学芸大学	47.295	95%
東京芸術大学	47.217	95%
東京海洋大学	45.031	85%
お茶の水女子大学	51.871	105%
電気通信大学	45.174	85%
奈良女子大学	47.648	95%
九州工業大学	44.678	85%
鹿屋体育大学	46.090	90%
政策研究大学院大学	61.607	115%
総合研究大学院大学	49.327	100%
北陸先端科学技術大学院大学	53.381	110%
奈良先端科学技術大学院大学	47.095	90%

【重点支援③】

大学名	偏差値 (平均)	配分率
北海道大学	47.827	85%
東北大学	46.054	85%
筑波大学	53.884	110%
千葉大学	49.111	95%
東京大学	50.951	100%
東京農工大学	51.310	105%
東京工業大学	46.756	85%
一橋大学	59.053	115%
金沢大学	49.722	100%
名古屋大学	49.508	95%
京都大学	48.457	90%
大阪大学	51.526	110%
神戸大学	50.029	100%
岡山大学	49.325	95%
広島大学	50.017	100%
九州大学	46.471	85%

【大学共同利用機関法人】

機構名	偏差値 (平均)	配分率
人間文化研究機構	64.150	115%
自然科学研究機構	40.559	85%
高エネルギー加速器研究機構	44.857	95%
情報・システム研究機構	50.434	105%

会計マネジメント改革推進状況（1/2）

【重点支援①】

大学名	1. 学内に見える化と戦略的な資金配分【配点4点】						2. 学外へ見える化【配点4点】			3. 産学連携の推進のための環境整備【配点2点】	合計点数	補正点数※	配分率
	1.(1) 予算・決算の管理状況	1.(2)① 予算情報の共有状況	1.(2)② 決算情報の共有状況	1.(3)① 決算情報の予算配分への活用状況	1.(3)② 教育研究成果・実績等の予算配分への活用状況	1.(3)③ 決算情報と教育研究成果・実績等の比較分析及び活用状況	2.(1) 学部・研究科ごとのセグメント情報の開示状況	2.(2)① 大学独自の財務報告書等による情報開示の状況	2.(2)② ステークホルダーに対する対話型の情報開示の状況	3.(1)① 間接経費等の確保			
北海道教育大学	1	0.5	0.5	0.5	0.5	0	—	0.5	1	1	5.5	6.9	105%
室蘭工業大学	1	0.5	0.5	0.5	0.5	0	—	0.5	1	0	4.5	5.6	95%
小樽商科大学	1	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	—	0	1	2	6.5	8.1	115%
帯広畜産大学	1	0.5	0.5	0.5	0.5	1	—	0	1	0	5.0	6.3	100%
旭川医科大学	1	0.5	0.5	0.5	0.5	0	—	0	0	0	3.0	3.8	85%
北見工業大学	1	0.5	0.5	0.5	0.5	0	—	0	0	0	3.0	3.8	85%
弘前大学	1	0.5	0.5	0.5	0.5	1	2	0.5	1	0	7.5	7.5	115%
岩手大学	1	0.5	0.5	0.5	0.5	0	1	0.5	1	0.5	6.0	6.0	100%
宮城教育大学	1	0.5	0.5	0.5	0.5	0	—	0.5	1	0	4.5	5.6	95%
秋田大学	1	0.5	0.5	0.5	0.5	0	1	0.5	1	0	5.5	5.5	95%
山形大学	1	0.5	0.5	0.5	0.5	0	1	0.5	1	1	6.5	6.5	105%
福島大学	1	0.5	0.5	0.5	0.5	0	0.5	1	1	0	5.5	5.5	95%
茨城大学	1	0.5	0.5	0.5	0.5	0	1	0.5	1	0.5	6.0	6.0	100%
宇都宮大学	1	0.5	0.5	0.5	0.5	0	1	0.5	1	0.5	6.0	6.0	100%
群馬大学	1	0.5	0.5	0.5	0.5	0	2	0.5	1	0	6.5	6.5	105%
埼玉大学	1	0.5	0	0.5	0.5	0	0	1	1	0	4.5	4.5	85%
横浜国立大学	1	0.5	0.5	0.5	0.5	0	1	1	1	1	7.0	7.0	110%
新潟大学	1	0.5	0.5	0.5	0.5	0	1	0	1	0	5.0	5.0	90%
長岡技術科学大学	1	0.5	0.5	0.5	0.5	0	—	1	1	0	5.0	6.3	100%
上越教育大学	1	0.5	0.5	0.5	0.5	0	—	0	1	1	5.0	6.3	100%
富山大学	1	0.5	0.5	0.5	0.5	0	1	0.5	1	0	5.5	5.5	95%
福井大学	1	0.5	0.5	0.5	0.5	0	2	1	1	0.5	7.5	7.5	115%
山梨大学	1	0.5	0	0.5	0.5	0	0	0.5	0.5	0.5	4.0	4.0	85%
信州大学	1	0.5	0.5	0.5	0.5	0	0	0.5	1	0	4.5	4.5	85%
岐阜大学	1	0.5	0.5	0.5	0.5	0	1	0.5	0.5	1	6.0	6.0	100%
静岡大学	1	0.5	0.5	0.5	0.5	0	0	0.5	1	1	5.5	5.5	95%
浜松医科大学	1	0.5	0.5	0.5	0.5	0	—	1	1	0	5.0	6.3	100%
愛知教育大学	1	0.5	0.5	0.5	0.5	0	—	1	1	2	7.0	8.8	115%
名古屋工業大学	1	0.5	0.5	0.5	0.5	0	—	1	1	1	6.0	7.5	115%
豊橋技術科学大学	1	0.5	0.5	0.5	0.5	0	—	0	1	1	5.0	6.3	100%
三重大学	1	0.5	0.5	0.5	0.5	0	1	1	1	0	6.0	6.0	100%
滋賀大学	1	0.5	0	0.5	0.5	0	0	0	1	2	5.5	5.5	95%
滋賀医科大学	1	0.5	0.5	0.5	0.5	0	—	0.5	1	0	4.5	5.6	95%
京都教育大学	1	0.5	0.5	0.5	0.5	0	—	0.5	1	0	4.5	5.6	95%
京都工芸繊維大学	1	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	—	0.5	1	0	5.0	6.3	100%
大阪教育大学	1	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	—	0.5	1	1	6.0	7.5	115%
兵庫教育大学	1	0.5	0.5	0.5	0.5	0	—	0	1	0	4.0	5.0	90%
奈良教育大学	1	0.5	0.5	0.5	0.5	1	—	0.5	1	1	6.5	8.1	115%
和歌山大学	1	0.5	0.5	0.5	0.5	0	0.5	0	1	0	4.5	4.5	85%
鳥取大学	1	0.5	0.5	0.5	0.5	0	2	0.5	1	1	7.5	7.5	115%
島根大学	1	0.5	0.5	0.5	0.5	0	2	0.5	1	0	6.5	6.5	105%
山口大学	1	0.5	0.5	0.5	0.5	0	1	1	1	1	7.0	7.0	110%
徳島大学	1	0.5	0.5	0.5	0.5	0	2	0.5	1	0	6.5	6.5	105%
鳴門教育大学	1	0.5	0.5	0.5	0.5	1	—	0.5	1	0	5.5	6.9	105%
香川大学	1	0.5	0.5	0.5	0.5	0	0.5	0.5	1	0	5.0	5.0	90%
愛媛大学	1	0.5	0	0.5	0.5	0	0	1	1	1	5.5	5.5	95%
高知大学	1	0.5	0.5	0.5	0.5	1	1	1	1	0.5	7.5	7.5	115%
福岡教育大学	1	0.5	0.5	0.5	0.5	1	—	0	1	1.5	6.5	8.1	115%
佐賀大学	1	0.5	0	0.5	0.5	0	0	0.5	0	0	3.0	3.0	85%
長崎大学	1	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	1	0.5	1	0	6.0	6.0	100%
熊本大学	1	0.5	0.5	0.5	0.5	0	2	0	1	1	7.0	7.0	110%
大分大学	1	0.5	0.5	0.5	0.5	0	2	0	0.5	0	5.5	5.5	95%
宮崎大学	1	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	1	1	1	0	6.5	6.5	105%
鹿児島大学	1	0.5	0.5	0.5	0.5	0	1	0	0	0	4.0	4.0	85%
琉球大学	1	0.5	0	0.5	0.5	0	0	1	1	0	4.5	4.5	85%

※合計について、単科大学は合計点が異なることから補正を行っている

会計マネジメント改革推進状況（2/2）

【重点支援②】

大学名	1. 学内の見える化と戦略的な資金配分【配点4点】						2. 学外への見える化【配点4点】			3. 産学連携の推進のための環境整備【配点2点】	合計点数	補正点数※	配分率
	1.(1) 予算・決算の管理状況	1.(2)① 予算情報の共有状況	1.(2)② 決算情報の共有状況	1.(3)① 決算情報の予算配分への活用状況	1.(3)② 教育研究成果・実績等の予算配分への活用状況	1.(3)③ 決算情報と教育研究成果・実績等の比較分析及び活用状況	2.(1) 学部・研究科ごとのセグメント情報の開示状況	2.(2)① 大学独自の財務報告書等による情報開示の状況	2.(2)② ステークホルダーに対する対話型の情報開示の状況	3.(1)① 間接経費等の確保			
筑波技術大学	1	0.5	0.5	0.5	0.5	0	0	0.5	1	0	4.5	4.5	85%
東京医科歯科大学	1	0.5	0	0.5	0.5	0	0	0	1	2	5.5	5.5	95%
東京外国語大学	1	0.5	0.5	0.5	0.5	0	1	1	1	1	7.0	7.0	115%
東京学芸大学	1	0.5	0.5	0.5	0.5	0	-	0.5	1	1	5.5	6.9	110%
東京芸術大学	1	0.5	0.5	0.5	0.5	0	1	0.5	1	1	6.5	6.5	100%
東京海洋大学	1	0.5	0	0.5	0.5	0	0	1	1	1	5.5	5.5	95%
お茶の水女子大学	1	0.5	0.5	0.5	0.5	0	1	1	1	1	7.0	7.0	115%
電気通信大学	1	0.5	0.5	0.5	0.5	0	-	0.5	1	1	5.5	6.9	110%
奈良女子大学	1	0.5	0.5	0.5	0.5	0	1	0	1	0	5.0	5.0	90%
九州工業大学	1	0.5	0.5	0.5	0.5	0	1	0	1	1	6.0	6.0	100%
鹿屋体育大学	1	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	-	0	1	0	4.5	5.6	95%
政策研究大学院大学	1	0.5	0.5	0.5	0.5	0	-	0.5	0.5	0.5	4.5	5.6	95%
総合研究大学院大学	1	0.5	0.5	0.5	0.5	0	1	0	1	1	6.0	6.0	100%
北陸先端科学技術大学院大学	1	0.5	0.5	0.5	0.5	0	-	0	1	0	4.0	5.0	90%
奈良先端科学技術大学院大学	1	0.5	0.5	0.5	0.5	0	-	0.5	0	0	3.5	4.4	85%

【重点支援③】

大学名	1. 学内の見える化と戦略的な資金配分【配点4点】						2. 学外への見える化【配点4点】			3. 産学連携の推進のための環境整備【配点2点】	合計点数	補正点数※	配分率
	1.(1) 予算・決算の管理状況	1.(2)① 予算情報の共有状況	1.(2)② 決算情報の共有状況	1.(3)① 決算情報の予算配分への活用状況	1.(3)② 教育研究成果・実績等の予算配分への活用状況	1.(3)③ 決算情報と教育研究成果・実績等の比較分析及び活用状況	2.(1) 学部・研究科ごとのセグメント情報の開示状況	2.(2)① 大学独自の財務報告書等による情報開示の状況	2.(2)② ステークホルダーに対する対話型の情報開示の状況	3.(1)① 間接経費等の確保			
北海道大学	1	0.5	0.5	0.5	0.5	0	2	0.5	1	1	7.5	7.5	110%
東北大学	1	0.5	0	0.5	0.5	0	0	1	1	0.5	5.0	5.0	85%
筑波大学	1	0.5	0.5	0.5	0.5	0	0	1	1	0.5	5.5	5.5	95%
千葉大学	1	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0	1	1	2	7.5	7.5	110%
東京大学	1	0.5	0	0.5	0.5	0	0	1	1	1	5.5	5.5	95%
東京農工大学	0	0.5	0	0.5	0.5	0	0	0	1	1	3.5	3.5	85%
東京工業大学	1	0.5	0.5	0.5	0.5	0	1	0.5	1	2	7.5	7.5	110%
一橋大学	1	0.5	0.5	0.5	0.5	0	1	1	1	0	6.0	6.0	95%
金沢大学	1	0.5	0.5	0.5	0.5	0	2	1	1	0.5	7.5	7.5	110%
名古屋大学	1	0.5	0	0.5	0.5	0	0	0	1	2	5.5	5.5	95%
京都大学	1	0.5	0.5	0.5	0.5	1	0	1	1	0	6.0	6.0	95%
大阪大学	1	0.5	0.5	0.5	0.5	0	0.5	1	1	1	6.5	6.5	100%
神戸大学	1	0.5	0	0.5	0.5	0.5	0	1	1	0.5	5.5	5.5	95%
岡山大学	1	0.5	0.5	0.5	0.5	0	2	1	1	1	8.0	8.0	115%
広島大学	1	0.5	0.5	0.5	0.5	0	2	1	1	0	7.0	7.0	100%
九州大学	1	0.5	0	0.5	0.5	0	0	1	1	2	6.5	6.5	100%

【大学共同利用機関法人】

機関名	1. 学内の見える化と戦略的な資金配分【配点4点】						2. 学外への見える化【配点4点】			3. 産学連携の推進のための環境整備【配点2点】	合計点数	補正点数※	配分率
	1.(1) 予算・決算の管理状況	1.(2)① 予算情報の共有状況	1.(2)② 決算情報の共有状況	1.(3)① 決算情報の予算配分への活用状況	1.(3)② 教育研究成果・実績等の予算配分への活用状況	1.(3)③ 決算情報と教育研究成果・実績等の比較分析及び活用状況	2.(1) 学部・研究科ごとのセグメント情報の開示状況	2.(2)① 大学独自の財務報告書等による情報開示の状況	2.(2)② ステークホルダーに対する対話型の情報開示の状況	3.(1)① 間接経費等の確保			
人間文化研究機構	1	0.5	0.5	0.5	0.5	0	2	1	1	0	7.0	7.0	95%
自然科学研究機構	1	0.5	0.5	0.5	0.5	0	2	0.5	1	1	7.5	7.5	105%
高エネルギー加速器研究機構	1	0.5	0.5	0.5	0.5	1	2	0	0	0	6.0	6.0	85%
情報・システム研究機構	1	0.5	0.5	0.5	0.5	0	2	0	1	2	8.0	8.0	115%

※合計について、単科大学は合計点が異なることから補正を行っている

常勤教員当たり経営資金獲得実績（1/2）

【重点支援①】

大学名	常勤教員数 (人)	寄附金 (円)	雑収入 (円)	経営資金獲得実績 (円)	常勤教員当たり 経営資金獲得実績	配分率
北海道教育大学	377	79,488,225	165,602,207	245,090,432	650,107.25	85%
室蘭工業大学	183	138,818,965	110,841,786	249,660,751	1,364,266.40	95%
小樽商科大学	116	75,783,225	43,318,549	119,101,774	1,026,739.43	90%
帯広畜産大学	138	116,921,220	312,374,814	429,296,034	3,110,840.83	115%
旭川医科大学	359	460,319,218	248,460,653	708,779,871	1,974,317.19	105%
北見工業大学	142	75,096,180	78,307,476	153,403,656	1,080,307.44	90%
弘前大学	753	907,143,661	339,949,757	1,247,093,418	1,656,166.56	100%
岩手大学	413	177,481,543	364,876,006	542,357,549	1,313,214.40	95%
宮城教育大学	116	68,006,794	39,709,285	107,716,079	928,586.89	85%
秋田大学	562	615,507,044	246,902,242	862,409,286	1,534,536.10	100%
山形大学	808	1,066,197,402	509,794,840	1,575,992,242	1,950,485.45	105%
福島大学	292	412,130,568	95,470,078	507,600,646	1,738,358.38	100%
茨城大学	539	197,405,897	291,530,910	488,936,807	907,118.38	85%
宇都宮大学	341	188,223,196	248,951,172	437,174,368	1,282,036.27	95%
群馬大学	817	720,619,364	443,807,019	1,164,426,383	1,425,246.49	95%
埼玉大学	454	254,754,138	315,745,490	570,499,628	1,256,607.11	90%
横浜国立大学	586	524,924,005	292,653,814	817,577,819	1,395,183.99	95%
新潟大学	1,252	1,176,310,698	591,273,804	1,767,584,502	1,411,808.71	95%
長岡技術科学大学	202	154,390,613	166,767,889	321,158,502	1,589,893.57	100%
上越教育大学	149	42,380,040	96,299,594	138,679,634	930,735.80	85%
富山大学	859	833,404,984	277,770,040	1,111,175,024	1,293,568.13	95%
福井大学	617	597,682,306	230,844,670	828,526,976	1,342,831.40	95%
山梨大学	765	637,491,552	969,584,637	1,607,076,189	2,100,753.19	110%
信州大学	1,031	1,010,610,099	915,059,952	1,925,670,051	1,867,769.21	100%
岐阜大学	786	1,092,711,686	716,776,155	1,809,487,841	2,302,147.38	115%
静岡大学	692	344,331,540	268,561,540	612,893,080	885,683.64	85%
浜松医科大学	325	761,100,620	238,704,431	999,805,051	3,076,323.23	115%
愛知教育大学	210	176,170,008	133,482,807	309,652,815	1,474,537.21	100%
名古屋工業大学	348	318,833,706	332,437,131	651,270,837	1,871,467.92	105%
豊橋技術科学大学	212	200,592,539	208,357,245	408,949,784	1,929,008.42	105%
三重大学	818	765,722,779	521,118,645	1,286,841,424	1,573,155.78	100%
滋賀大学	209	62,951,688	72,395,766	135,347,454	647,595.47	85%
滋賀医科大学	371	555,694,902	220,180,291	775,875,193	2,091,307.80	110%
京都教育大学	112	161,488,950	81,948,400	243,437,350	2,173,547.77	110%
京都工芸繊維大学	292	135,256,120	90,857,307	226,113,427	774,361.05	85%
大阪教育大学	255	207,209,335	150,041,643	357,250,978	1,400,984.23	95%
兵庫教育大学	162	30,910,078	140,212,092	171,122,170	1,056,309.69	90%
奈良教育大学	95	30,572,692	61,988,493	92,561,185	974,328.26	85%
和歌山大学	277	67,572,079	156,922,221	224,494,300	810,448.74	85%
鳥取大学	771	468,105,926	434,010,206	902,116,132	1,170,059.83	90%
島根大学	726	569,657,953	343,534,405	913,192,358	1,257,840.71	90%
山口大学	942	976,053,820	1,225,126,109	2,201,179,929	2,336,709.05	115%
徳島大学	980	1,696,481,761	342,955,340	2,039,437,101	2,081,058.27	110%
鳴門教育大学	134	21,454,483	67,057,771	88,512,254	660,539.21	85%
香川大学	605	713,835,515	162,506,893	876,342,408	1,448,499.85	100%
愛媛大学	959	1,442,892,829	757,624,815	2,200,517,644	2,294,596.08	115%
高知大学	663	508,477,353	461,852,581	970,329,934	1,463,544.40	100%
福岡教育大学	163	138,139,700	84,310,916	222,450,616	1,364,727.71	95%
佐賀大学	681	666,356,890	338,497,490	1,004,854,380	1,475,557.09	100%
長崎大学	1,144	1,136,716,939	617,498,399	1,754,215,338	1,533,405.02	100%
熊本大学	980	1,593,970,637	492,287,391	2,086,258,028	2,128,834.72	110%
大分大学	621	575,223,616	259,511,410	834,735,026	1,344,178.79	95%
宮崎大学	725	730,739,039	736,371,489	1,467,110,528	2,023,600.73	110%
鹿児島大学	1,137	1,334,683,997	829,261,976	2,163,945,973	1,903,206.66	105%
琉球大学	855	499,712,996	365,220,155	864,933,151	1,011,617.72	85%

常勤教員当たり経営資金獲得実績（2/2）

【重点支援②】

大学名	常勤 教員数	寄附金 (円)	雑収入 (円)	経営資金獲得実績 (円)	常勤教員当たり 経営資金獲得実績	配分率
筑波技術大学	106	11,259,421	31,824,982	43,084,403	406,456.63	85%
東京医科歯科大学	875	1,403,636,007	654,235,723	2,057,871,730	2,351,853.41	110%
東京外国語大学	255	43,034,070	350,014,129	393,048,199	1,541,365.49	100%
東京学芸大学	313	232,237,574	294,840,686	527,078,260	1,683,956.10	100%
東京芸術大学	267	277,992,054	230,314,201	508,306,255	1,903,768.75	105%
東京海洋大学	239	181,605,383	175,735,309	357,340,692	1,495,149.34	95%
お茶の水女子大学	228	449,773,346	150,787,683	600,561,029	2,634,039.60	110%
電気通信大学	340	191,408,486	100,430,131	291,838,617	858,348.87	85%
奈良女子大学	202	128,073,244	106,815,165	234,888,409	1,162,813.91	90%
九州工業大学	348	140,089,670	357,149,858	497,239,528	1,428,849.22	90%
鹿屋体育大学	60	36,728,064	52,839,079	89,567,143	1,492,785.72	95%
政策研究大学院大学	68	63,675,928	140,250,099	203,926,027	2,998,912.16	115%
総合研究大学院大学	25	9,028,128	3,238,401	12,266,529	490,661.16	85%
北陸先端科学技術大学院大学	151	113,124,549	145,733,236	258,857,785	1,714,289.97	100%
奈良先端科学技術大学院大学	233	215,190,844	131,943,047	347,133,891	1,489,845.03	95%

【重点支援③】

大学名	常勤 教員数	寄附金 (円)	雑収入 (円)	経営資金獲得実績 (円)	常勤教員当たり 経営資金獲得実績	配分率
北海道大学	2,329	2,540,911,648	1,681,831,213	4,222,742,861	1,813,114.15	85%
東北大学	2,982	3,359,973,440	2,035,261,169	5,395,234,609	1,809,267.14	85%
筑波大学	1,852	3,414,595,764	2,186,778,934	5,601,374,698	3,024,500.38	105%
千葉大学	1,321	1,543,633,650	885,762,479	2,429,396,129	1,839,058.39	85%
東京大学	4,742	10,951,152,166	7,772,192,098	18,723,344,264	3,948,406.64	110%
東京農工大学	397	395,558,733	685,856,584	1,081,415,317	2,723,968.05	100%
東京工業大学	1,209	1,446,948,688	1,479,016,636	2,925,965,324	2,420,153.29	100%
一橋大学	310	1,488,293,164	364,125,579	1,852,418,743	5,975,544.33	115%
金沢大学	1,150	1,363,587,811	431,526,009	1,795,113,820	1,560,968.54	85%
名古屋大学	2,349	4,195,653,829	1,826,730,613	6,022,384,442	2,563,807.77	100%
京都大学	3,368	10,368,860,570	3,078,886,944	13,447,747,514	3,992,799.14	110%
大阪大学	3,247	4,999,705,255	2,802,711,682	7,802,416,937	2,402,961.79	95%
神戸大学	1,555	2,224,897,012	904,035,684	3,128,932,696	2,012,175.37	90%
岡山大学	1,468	2,452,876,899	915,835,948	3,368,712,847	2,294,763.52	95%
広島大学	1,670	3,369,640,635	693,776,093	4,063,416,728	2,433,183.67	100%
九州大学	2,387	3,430,753,444	1,978,841,172	5,409,594,616	2,266,273.40	95%

【大学共同利用機関法人】

機構名	常勤 教員数	寄附金 (円)	雑収入 (円)	経営資金獲得実績 (円)	常勤教員当たり 経営資金獲得実績	配分率
人間文化研究機構	234	85,353,435	198,967,599	284,321,034	1,215,047.15	105%
自然科学研究機構	522	388,981,667	203,384,485	592,366,152	1,134,801.06	95%
高エネルギー加速器研究機構	414	32,995,187	393,125,097	426,120,284	1,029,276.05	85%
情報・システム研究機構	307	134,624,323	469,992,315	604,616,638	1,969,435.30	115%

施設マネジメント改革推進状況（1/2）

【重点支援①】

大学名	(1) 施設の有効活用について【配点5点】					(2) 適切な維持管理について【配点7点】						(3) サステイナブル・キャンパス【配点3点】		合計	配分率
	①利用状況調査	②利用計画に基づく取組	③稼働率調査	④スペースチャージ	⑤満足度調査	①個別施設設計画	②12条点検	③12条点検対象外	④予防保全	⑤整備等の優先付け	⑥多様な財源	①見える化	②原単位変化		
北海道教育大学	1	0	1	0	1	1	1	1	1	1	0	1	1	10	100%
室蘭工業大学	0	1	1	1	1	0	1	1	1	0	1	0	2	10	100%
小樽商科大学	0	1	1	0	1	0	1	1	1	1	0	1	2	10	100%
帯広畜産大学	1	1	1	1	0	0	1	1	1	1	2	0	2	12	110%
旭川医科大学	0	1	1	1	1	0	1	0	1	0	0	1	0	7	85%
北見工業大学	0	1	1	1	1	0	1	1	1	1	0	0	1	9	95%
弘前大学	1	1	1	1	1	0	1	1	1	1	0	1	0	10	100%
岩手大学	0	1	1	1	1	0	1	1	1	1	2	1	1	12	110%
宮城教育大学	1	1	1	1	1	0	1	0	1	1	0	0	1	9	95%
秋田大学	0	1	1	1	1	0	1	1	1	1	2	0	0	10	100%
山形大学	1	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	0	2	12	110%
福島大学	0	1	1	1	1	0	1	1	0	1	0	1	0	8	85%
茨城大学	0	1	1	1	1	0	1	1	1	1	0	1	0	9	95%
宇都宮大学	1	0	0	1	1	1	0	0	1	1	2	0	0	8	85%
群馬大学	0	1	1	1	1	0	1	1	1	1	0	1	1	10	100%
埼玉大学	0	1	1	1	1	0	1	1	1	1	2	1	0	11	105%
横浜国立大学	0	1	1	1	1	0	1	1	1	1	2	0	1	11	105%
新潟大学	0	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	0	0	9	95%
長岡技術科学大学	0	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	1	2	12	110%
上越教育大学	0	1	1	1	1	0	0	0	1	1	0	1	2	9	95%
富山大学	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	13	115%
福井大学	1	1	1	1	1	0	1	1	1	1	2	1	2	14	115%
山梨大学	0	1	1	1	1	0	1	1	1	1	0	1	0	9	95%
信州大学	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	0	0	11	105%
岐阜大学	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	13	115%
静岡大学	1	0	1	1	1	1	0	1	1	1	0	1	0	9	95%
浜松医科大学	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1	0	13	115%
愛知教育大学	1	1	1	0	1	1	1	1	1	1	2	0	1	12	110%
名古屋工業大学	0	1	1	1	1	0	0	0	1	0	2	1	2	10	100%
豊橋技術科学大学	1	1	1	1	1	0	0	0	1	1	1	1	2	11	105%
三重大学	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1	0	10	100%
滋賀大学	1	1	1	1	1	0	1	1	1	1	2	1	0	12	110%
滋賀医科大学	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	9	95%
京都教育大学	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	13	115%
京都工芸繊維大学	0	1	1	1	0	0	1	0	1	1	2	1	2	11	105%
大阪教育大学	0	1	1	1	0	1	1	0	1	1	1	0	0	8	85%
兵庫教育大学	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1	2	12	110%
奈良教育大学	0	1	1	1	1	0	1	0	1	1	1	0	2	10	100%
和歌山大学	1	1	1	1	0	0	1	0	0	1	1	0	1	8	85%
鳥取大学	0	1	1	1	1	0	1	1	1	1	0	1	0	9	95%
島根大学	0	1	1	1	1	0	1	1	1	1	2	1	0	11	105%
山口大学	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1	11	105%
徳島大学	0	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	0	1	10	100%
鳴門教育大学	1	0	1	0	0	0	1	1	1	0	0	1	2	8	85%
香川大学	1	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	1	2	13	115%
愛媛大学	1	1	1	1	1	0	1	1	0	1	0	0	0	8	85%
高知大学	0	1	1	1	1	0	1	1	1	1	0	1	1	10	100%
福岡教育大学	0	1	0	1	1	0	1	1	0	0	1	0	2	8	85%
佐賀大学	0	1	1	1	1	1	0	0	1	1	2	1	0	10	100%
長崎大学	0	1	1	1	1	0	1	1	1	1	0	0	1	9	95%
熊本大学	0	1	1	1	1	0	0	1	1	1	1	1	1	10	100%
大分大学	0	1	1	1	1	0	1	1	1	1	2	1	2	13	115%
宮崎大学	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1	0	10	100%
鹿児島大学	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	12	110%
琉球大学	1	1	1	1	1	0	1	1	1	1	0	1	1	11	105%

施設マネジメント改革推進状況（2/2）

【重点支援②】

大学名	(1) 施設の有効活用について【配点5点】					(2) 適切な維持管理について【配点7点】						(3) サステイナブル・キャンパス【配点3点】		合計	配分率
	①利用状況調査	②利用計画に基づく取組	③稼働率調査	④スペースチャージ	⑤満足度調査	①個別施設計画	②12条点検	③12条点検対象外	④予防保全	⑤整備等の優先付け	⑥多様な財源	①見える化	②原単位変化		
筑波技術大学	0	1	1	1	1	0	1	1	1	0	0	1	0	8	85%
東京医科歯科大学	0	1	1	1	0	0	1	1	1	1	1	0	1	9	90%
東京外国語大学	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	0	2	13	110%
東京学芸大学	0	1	0	0	1	1	0	0	1	1	2	0	1	8	85%
東京芸術大学	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1	2	13	110%
東京海洋大学	0	1	1	1	0	0	1	1	1	1	2	0	0	9	90%
お茶の水女子大学	0	1	0	1	1	0	1	1	0	0	0	0	2	7	85%
電気通信大学	1	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	1	2	13	110%
奈良女子大学	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	11	95%
九州工業大学	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	12	100%
鹿屋体育大学	0	1	1	1	1	0	1	1	1	1	2	1	0	11	95%
政策研究大学院大学	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1	12	100%
総合研究大学院大学	1	0	1	0	1	0	1	1	1	1	1	1	2	11	95%
北陸先端科学技術大学院大学	0	1	1	1	1	0	1	1	1	1	2	1	2	13	110%
奈良先端科学技術大学院大学	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1	2	14	115%

【重点支援③】

大学名	(1) 施設の有効活用について【配点5点】					(2) 適切な維持管理について【配点7点】						(3) サステイナブル・キャンパス【配点3点】		合計	配分率
	①利用状況調査	②利用計画に基づく取組	③稼働率調査	④スペースチャージ	⑤満足度調査	①個別施設計画	②12条点検	③12条点検対象外	④予防保全	⑤整備等の優先付け	⑥多様な財源	①見える化	②原単位変化		
北海道大学	0	0	1	1	1	0	1	0	1	1	0	1	1	8	85%
東北大学	1	1	1	1	1	0	1	1	1	1	2	1	1	13	110%
筑波大学	1	1	1	1	1	0	0	0	1	0	2	0	1	9	85%
千葉大学	0	1	1	1	1	0	1	1	1	1	0	1	0	9	85%
東京大学	1	1	1	1	1	0	1	1	1	1	2	1	0	12	100%
東京農工大学	1	1	1	1	1	0	1	1	1	1	2	1	1	13	110%
東京工業大学	1	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	1	1	12	100%
一橋大学	0	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	1	0	10	90%
金沢大学	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1	12	100%
名古屋大学	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	12	100%
京都大学	1	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	1	1	12	100%
大阪大学	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1	2	15	115%
神戸大学	1	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	1	1	12	100%
岡山大学	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	11	95%
広島大学	0	1	1	1	1	0	1	1	1	1	0	0	0	8	85%
九州大学	1	1	1	1	1	0	1	1	1	1	2	0	2	13	110%

【大学共同利用機関法人】

機構名	(1) 施設の有効活用について【配点5点】					(2) 適切な維持管理について【配点7点】						(3) サステイナブル・キャンパス【配点3点】		合計	配分率
	①利用状況調査	②利用計画に基づく取組	③稼働率調査	④スペースチャージ	⑤満足度調査	①個別施設計画	②12条点検	③12条点検対象外	④予防保全	⑤整備等の優先付け	⑥多様な財源	①見える化	②原単位変化		
人間文化研究機構	1	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	0	2	12	115%
自然科学研究機構	0	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	1	0	10	85%
高エネルギー加速器研究機構	0	1	1	1	1	0	1	1	1	1	2	0	2	12	115%
情報・システム研究機構	0	1	1	1	0	1	1	1	1	1	2	0	2	12	115%

卒業・修了者の就職・進学等の状況

指標の概要

大学の教育による成果として、卒業・修了者がどれだけ就職、あるいは進学しているかについて、卒業・修了者数当たりの就職・進学等の状況に基づき、学系（※）ごとに評価

指標の算定方法

①学系別の偏差値を算出

大学ごとに、以下の算定式により学系別に比率を算出し、各比率の学系内における偏差値を算出

$$\text{当該学系における（就職者数+進学者数）} \div \text{当該学系における卒業・修了者数}$$

②大学別の平均偏差値を算出

各大学の学系ごとの偏差値を、卒業・修了者数で加重平均することにより得られた数値を指標とする

指標に用いるデータの定義等

○就職・進学者数

2016年度（平成28年度）～2018年度（平成30年度）における就職・進学者数の3か年平均。

出典：文部科学省高等教育局国立大学法人支援課調査（令和元年12月）における「卒業・修了者の就職・進学の状況（H28-H30）」

○卒業・修了者数

2016年度（平成28年度）～2018年度（平成30年度）における卒業・修了者数の3か年平均。

出典：文部科学省高等教育局国立大学法人支援課調査（令和元年12月）における「卒業・修了者の就職・進学の状況（H28-H30）」

※学系…国立大学法人評価の中で、（独）大学改革支援・学位授与機構が実施する教育研究に関する評価において実施される「現況分析」における評価単位（人文科学系、社会科学系、理学系、工学系、農学系、保健系、教育系、総合文系、総合理系、総合融合系）。次頁以降、特に断りがない限り、学系とは上記を指す。

博士号授与の状況

指標の概要

特に博士課程における学修成果として、学位をどれだけ授与しているかについて、博士課程入学定員当たりの学位授与数の状況に基づき、学系ごとに評価

指標の算定方法

①学系別の偏差値を算出

大学ごとに、以下の算定式により学系別に比率を算出し、各比率の学系内における偏差値を算出

当該学系における学位（課程博士）授与数／当該学系における博士課程入学定員

（※100%を上限）

②大学別の平均偏差値を算出

各大学の学系ごとの偏差値を、博士課程入学定員で加重平均することにより得られた数値を指標とする

指標に用いるデータの定義等

○学位（課程博士）授与数

2016年度（平成28年度）～2018年度（平成30年度）における学位（課程博士）授与数の3か年平均。

出典：文部科学省高等教育局国立大学法人支援課調査（令和元年12月）における「博士号授与の状況（H28-H30）」

○博士課程入学定員

2016年度（平成28年度）～2018年度（平成30年度）に学位授与を行った博士課程の標準修業年限に応じた入学定員の3か年平均。※

出典：文部科学省高等教育局国立大学法人支援課調査（令和元年12月）における「博士号授与の状況（H28-H30）」

※標準修業年限3年の場合…2014年度（平成26年度）～2016年度（平成28年度）の平均

標準修業年限4年の場合…2013年度（平成25年度）～2015年度（平成27年度）の平均

標準修業年限5年の場合…2012年度（平成24年度）～2014年度（平成26年度）の平均

カリキュラム編成上の工夫の状況

指標の概要

各大学における教育課程において、教育内容の充実に資する取組や学修成果の質保証に資する取組がどれだけ行われているかについて、カリキュラム編成上の工夫の状況に基づき、学系ごとに評価

指標の算定方法

①学系別の点数を算出

大学ごとに、学系別に以下の観点を確認し、学系内の学部・研究科において当てはまっている場合に加点【配点：各1点】

- ✓学生の資質を多面的・総合的に評価し伸長するための取組の実施（アドミッション・ポリシーへの明示や初年次教育における特色ある取組など）
- ✓ナンバリングの実施
- ✓履修系統図（カリキュラムマップ、カリキュラムチャート）の活用
- ✓カリキュラム編成に当たり、企業等と連携する仕組みを設けている
- ✓能動的学修（アクティブ・ラーニング）を取り入れている
- ✓GPAに応じた履修上限単位数の設定
- ✓シラバスに「準備学修に必要な学修時間の目安」を設定
- ✓学生の学修成果の把握を行っている

②大学別の平均点を算出

各大学の学系ごとの点数を入学定員で加重平均することにより得られた数値を指標とする

指標に用いるデータの定義等

○観点

文部科学省高等教育局国立大学法人支援課調査（令和元年12月）における「カリキュラム編成上の工夫の状況」における設問及び回答。

○入学定員

2018年度（平成30年度）における入学定員。

出典：文部科学省高等教育局国立大学法人支援課調べ

若手研究者比率

指標の概要

各機関の研究環境の向上・改善の観点から、若手研究者がどれだけ在籍しているかについて、常勤教員数当たりの若手研究者数の状況に基づき、学系ごとに評価

指標の算定方法

①学系別の偏差値を算出

機関ごとに、以下の算定式により学系別に比率を算出し、各比率の学系内における偏差値を算出

当該学系における若手研究者数／当該学系における常勤教員数

②機関別の平均偏差値を算出

各機関の学系ごとの偏差値を、常勤教員数で加重平均することにより得られた数値を指標とする

指標に用いるデータの定義等

○若手研究者数

2016年度（平成28年度）～2018年度（平成30年度）の若手研究者（常勤教員のうち40歳未満の者）数の3か年平均。

出典：文部科学省高等教育局国立大学法人支援課調査（令和元年12月）における「若手研究者の雇用状況（H28-H30）」

○常勤教員数

2016年度（平成28年度）～2018年度（平成30年度）の常勤教員数の3か年平均。

出典：文部科学省高等教育局国立大学法人支援課調査（令和元年12月）における「若手研究者の雇用状況（H28-H30）」

※次頁以降、特に断りがない限り、常勤教員数とは上記を指す。

運営費交付金等コスト当たり TOP10%論文数

指標の概要

各機関が質の高い研究成果をどれだけ算出しているかについて、運営費交付金など基盤的経費投入コスト当たりの被引用数 TOP10%の論文の件数に基づき、評価

本指標に基づく評価については、運営費交付金における重点支援の枠組において、重点支援③（主として、卓越した成果を創出している海外大学と伍して、全学的に世界で卓越した教育研究、社会実装を推進する取組を第3期の機能強化の中核とする国立大学を重点的に支援する）を選択した大学、及び大学共同利用機関について実施

指標の算定方法

○機関ごとに、以下の算定式により得られた数値を指標とする

$$\text{TOP10\%論文数} / (\text{運営費交付金等} + \text{科研費等})$$

指標に用いるデータの定義等

○TOP10%論文数

2017年（平成29年）から2019年（令和元年）11月現在までの、大学別の被引用数の高い論文を示すTOP10%論文数（整数カウント）。

出典：(株)クラリベイト・アナリティクス・ジャパン提供のデータを参考にしつつ、(株)エルゼビア・ジャパンのデータを活用

○運営費交付金等

2017年度（平成29年度）及び2018年度（平成30年度）の国立大学法人運営費交付金等予算額（特殊要因運営費交付金を除き、国立大学機能強化促進費（補助金）を含む）の2か年平均。

○科研費等

2017年度（平成29年度）及び2018年度（平成30年度）の科学研究費補助金など研究者個人を対象とする競争的研究費の受入額の2か年平均。

常勤教員当たり研究業績数

指標の概要

各機関の研究活動の結果として、どれだけの成果を創出しているかについて、常勤教員当たりの研究業績数に基づき、学系ごとに評価

指標の算定方法

①学系別の偏差値を算出

機関ごとに、以下の算定式により学系別に比率を算出し、各比率の学系内における偏差値を算出

$$\text{当該学系における研究業績数} / \text{当該学系における常勤教員数}$$

②機関別の平均偏差値を算出

各機関の学系ごとの偏差値を、常勤教員数で加重平均することにより得られた数値を指標とする

指標に用いるデータの定義等

○研究業績数

2016年度（平成28年度）～2018年度（平成30年度）における研究業績数の3年平均。なお、学系ごとの研究業績の定義は次のとおり。

人文社会科学系（人文科学系、社会科学系、教育系、総合文系）	査読付き論文数、ISBNが付与されている学術図書※、作品等
自然科学系（工学系、理学系、農学系、保健系、総合理系、総合融合系）	査読付き論文数

出典：文部科学省高等教育局国立大学法人支援課調査（令和元年12月）における「研究業績数調査（H28-H30）」

※1 ISBN…（International Standard Book Number）書籍出版物を特定するために用いられる、国際的な識別コード番号

※2 学術図書…個人又は研究者グループ等が、学術研究の成果を公開するために刊行した図書のうち、以下のものを除いたもの

- ① 既に類似の成果が刊行されているもの
- ② 既にインターネットや学術誌等を通じて公表されている論文、又は公表が義務づけられている論文（例：博士論文）を単に集成し、刊行するもの

- ③ 学術研究の成果とは言い難いもの
- ④ 大学、研究所等の研究機関及び学術団体等がその事業として翻訳・校閲・刊行すべきもの
- ⑤ 出版社等の企画によって刊行するもの
- ⑥ 市販しないもの

※3 作品…発表作品のうち、以下の①及び②のみを対象とする（なお双方に該当するものがあれば1件とする）。

- ① 第三者によって評価がなされ公開されているもののうち、公的機関（国、地方公共団体または文化・芸術の振興を目的としており行政庁（内閣府または都道府県）からの公益認定を受けている法人）が設置する文化芸術施設（美術館、博物館、劇場、音楽堂、文化ホールなど）による賞・表彰を受けたもの、もしくは全国紙や芸術系専門誌の批評に掲載され、評価されたもの（私的な団体や個人による賞・表彰や、一般誌における掲載物は除く）。
- ② 公的機関が設置する文化芸術施設による招待、あるいは審査を経て、公的な作品展・芸術祭にて公開されているもの（自大学において研究成果発表として公開する作品は除く）。

常勤教員当たり科研費受入実績

指標の概要

各機関の研究活動や研究環境整備の成果として、科研費をどれだけ獲得しているかについて、常勤教員当たりの科研費獲得額及び件数の状況に基づき、学系ごとに評価

指標の算定方法

①項目別・学系別の偏差値を算出

機関ごとに、以下の算定式により学系別に比率を算出し、各比率の学系内における偏差値を算出

当該学系における科研費獲得額／当該学系における常勤教員数

当該学系における科研費獲得件数／当該学系における常勤教員数

②項目別・機関別の平均偏差値を算出

①により算出したそれぞれの学系ごとの偏差値を、常勤教員数で加重平均し、獲得額・件数のそれぞれの機関別の平均偏差値を算出

③機関別の平均偏差値を算出

②により算出した項目別・機関別の偏差値を、算術平均することにより得られた数値を指標とする

指標に用いるデータの定義等

○科研費獲得額・件数

2016年度（平成28年度）～2018年度（平成30年度）の科研費獲得額及び件数（新規+継続）の3か年平均。

出典：文部科学省高等教育局国立大学法人支援課調査（令和元年12月）における「科研費受入実績の状況（H28-H30）」

常勤教員当たり受託・共同研究等受入額

指標の概要

各機関がどれだけ研究教育資金を獲得しているかについて、常勤教員当たりの受託・共同研究、受託事業受入額の状況に基づき、重点支援の枠組ごとに、学系ごとの評価の要素を加味して評価

指標の算定方法

①学系別の偏差値を算出

機関ごとに、以下の算定式により学系別に比率を算出し、各比率の学系内における機関別偏差値（学系）を算出

$$\text{当該学系における受託・共同研究、受託事業受入額} / \text{当該学系における常勤教員数}$$

②重点支援の枠組別の偏差値を算出

機関ごとに、以下の算定式により機関別に比率を算出し、各比率の重点支援の枠組内における機関別偏差値（重点）を算出

$$\text{受託・共同研究、受託事業受入額} / \text{常勤教員数}$$

③機関別の平均偏差値を算出

各機関の機関別偏差値（学系）及び機関別偏差値（重点）を、常勤教員数※で加重平均することにより得られた数値を指標とする

※常勤教員数は平成 30 年度の人数。

指標に用いるデータの定義等

○受託・共同研究、受託事業受入額

2018 年度（平成 30 年度）の受託・共同研究、受託事業受入額（国・独立行政法人・国立大学法人からの受入分を除く）。

出典：文部科学省高等教育局国立大学法人支援課調査（令和元年 12 月）における「外部資金受入実績の状況（H28-H30）」

人事給与マネジメント改革の推進状況

指標の概要

各機関における人事給与マネジメント改革の進捗状況について、人事計画の策定状況、全学統一的な業績評価の実施状況、外部資金の活用状況を各法人へ調査し、その回答に基づき、重点支援の枠組ごとに評価

指標の算定方法

①機関別の点数を算出

機関ごとに以下の観点を確認し、当てはまっている場合に加点

(1) 人事計画の策定状況【配点 5 点】

1. 適正な年齢構成の実現（4 点）

- ①大学として目指すべき適正な年齢構成を定めている（1 点）
- ②大学として中長期的な雇用計画を策定している（2 点）
 - a)定年退職者等を踏まえた具体的な雇用計画を立てている 0.5 点
 - b)計画が順調に進んでいる 0.5 点
 - c)適正な年齢構成を実現するための仕組みを導入し運用している 1 点
- ③年齢によらず実績を客観的に評価し、能力の高い教員を登用することが可能な仕組みを導入している（1 点）

2. 人材の多様化（ダイバーシティ）の推進（1 点）

- ①多様な人材の獲得を目指した人事計画、人事方針を定めている（0.5 点）
- ②計画が順調に進んでいる（0.5 点）

(2) 全学統一的な業績評価の実施状況【配点 4 点】

1. 教員の業績を適切に評価するとともに処遇に反映するための取組み（3 点）

- ①学術分野の特性に応じた評価の仕組みを取り入れている（0.5 点）
- ②年齢や職位に関わらず、優れた業績を適切に評価するとともにその評価結果を処遇に反映させることが可能な仕組みを取り入れている（1 点）
- ③評価結果を処遇に反映する際に、給与以外の活用方法（研究費の配分など研究環境の整備、雇用更新時等に実施される業績審査への活用、等）を取り入れている（1 点）
- ④評価の実施体制の構築にあたり、以下の全てに配慮している（0.5 点）
 - a.評価作業の負担軽減を図っている
 - b.評価者に対する研修等を実施している
 - c.評価の透明性の確保に努めている

2. 新年俸制の導入について（1点）

①新年俸制を導入している（0.5点）

②月給制に比して、業績をより適切に給与に反映させる仕組みを取り入れている（0.5点）

（3）外部資金の活用状況【配点3点】

1. 人件費への外部資金の活用状況（1点）

①承継職員の雇用財源に外部資金（寄附金、共同研究費、競争的資金等）を活用している（1点）

2. クロスアポイントメント制度の活用状況（2点）

①営利法人（民間企業）とのクロスアポイントメントを推進している（1点）

a)民間企業への派遣実績がある 0.5点

b)民間企業からの受入実績がある 0.5点

②クロスアポイントメント制度適用教員に対してインセンティブを付与している（1点）

②機関別の合計点を算出

各機関の点数を合計することにより得られた数値を指標とする

指標に用いるデータの定義等

○観点

文部科学省高等教育局国立大学法人支援課調査（令和元年12月）における「人事・給与マネジメントの推進状況調査」における設問及び回答。

ダイバーシティ環境醸成の状況

指標の概要

各機関におけるダイバーシティ環境がどれだけ醸成されているかについて、外国人教員・女性教員の比率や留学生・社会人学生・障害学生の比率、障害者雇用比率に基づき、重点支援の枠組ごとに評価

指標の算定方法

①重点支援別の偏差値を算出

機関ごとに、以下の算定式により比率を算出し、各比率の重点支援の枠組内における偏差値を算出

$$\frac{\text{(外国人教員比率・女性教員比率) 外国人教員・女性教員} / \text{常勤教員数}}{\text{(留学生比率・社会人学生比率・障害学生比率) 留学生・社会人学生・障害学生}} \times \text{の各人数} / \text{学生数}$$

(障害者雇用比率) 厚生労働省の公表データを活用

②機関別の平均偏差値を算出

各偏差値を算術平均することにより得られた数値を指標とする

指標に用いるデータの定義等

○外国人教員

常勤教員のうち、国籍が日本以外の者の人数（平成 30 年 5 月 1 日現在）。

出典：文部科学省高等教育局国立大学法人支援課の調査

○女性教員

常勤教員のうち、性別が女性の者の人数（平成 30 年 5 月 1 日現在）。

出典：文部科学省高等教育局国立大学法人支援課の調査

○障害者雇用比率

教職員のうち、障害を持つ者の実雇用率（平成 30 年 6 月 1 日現在）。

出典：「平成 30 年国の機関等における障害者雇用状況の集計結果」（平成 30 年 12 月 25 日厚生労働省）における「3 公的機関の各機関の状況」

○留学生

学部及び大学院に在籍する学生のうち、留学生の者の人数（平成 30 年 5 月 1 日現在）。

出典：大学基本情報（(独) 大学改革支援・学位授与機構ウェブサイト）

○障害学生

学部及び大学院に在籍する学生のうち、障害を持つ学生の人数（平成 30 年 5 月 1 日現在）

出典：文部科学省高等教育局国立大学法人支援課調査（令和元年 12 月）における「障害学生の在籍状況（H30）」

○**社会人学生**

大学院に在籍する学生のうち、社会人学生の人数（平成 30 年 5 月 1 日現在）。

出典：大学基本情報（(独) 大学改革支援・学位授与機構ウェブサイト）

○**学生数**

学部及び大学院に在籍する学生の人数（平成 30 年 5 月 1 日現在）。

出典：大学基本情報（(独) 大学改革支援・学位授与機構ウェブサイト）

会計マネジメント改革の推進状況

指標の概要

各機関における会計マネジメント改革の進捗状況について、学内のマネジメント、学外への情報開示、産学連携推進に向けた環境整備の取組を各法人へ調査し、その回答に基づき、重点支援の枠組ごとに評価

指標の算定方法

①機関別の点数を算出

機関ごとに以下の観点を確認し、当てはまっている場合に加点

1. 学内の見える化と戦略的な資金配分(学内の可視化による資源配分の最適化)【配点4点】

(1) 学部・研究科等ごとの予算・決算の管理状況(1点)

① 予算・決算の管理(1点)

- ✓ 「収支」と「損益」の両方を管理していれば1点

(2) 学部・研究科等ごとの予算・決算状況の情報共有(1点)

① 予算情報の共有状況(0.5点)

- ✓ 情報の共有範囲と共有内容に応じて配点

② 決算情報の共有状況(0.5点)

- ✓ 情報の共有範囲と共有内容に応じて配点

(3) 学部・研究科等ごとの決算情報等の予算配分等への活用状況(2点)

① 決算情報の予算配分への活用状況(0.5点)

② 教育研究成果・実績等の予算配分への活用状況(0.5点)

③ 経営判断への活用に向けた決算情報と教育研究成果・実績等の比較分析及び活用状況(1点)

- ✓ 活用状況に応じて配点

2. 学外への見える化(経営情報の社会との共有)【配点4点】

(1) 学部・研究科等ごとのセグメント情報の開示状況(2点)

① 学部・研究科等ごとのセグメント情報の開示状況(2点)

- ✓ 財務情報(「費用」及び「収益」と非財務情報(教育研究等の成果・実績等)の開示内容に応じて配点

(2) 大学独自のステークホルダーへの情報開示の取組(2点)

① 財務報告書等による情報開示の状況(1点)

- ✓ 開示内容の充実度に応じて配点

② ステークホルダーに対する対話型の情報開示の状況（1点）

3. 産学連携の推進のための環境整備【配点2点】

（1）産学連携の推進のための間接経費等の確保

① 共同研究に必要となる間接経費等コストの確保（2点）

✓ 間接経費の設定率及び実績に応じて配点

②機関別の合計点を算出

各機関の点数を合計することにより得られた数値を指標とする

指標に用いるデータの定義等

○観点

文部科学省高等教育局国立大学法人支援課調査（令和元年12月）における「会計マネジメントの推進状況調査」における設問及び回答。

常勤教員当たり経営資金獲得実績

指標の概要

各機関がどれだけ経営資金を獲得しているかについて、教員一人当たりの寄附金及び雑収入の獲得実績に基づき、重点支援の枠組ごとに評価

指標の算定方法

○機関ごとに、以下の算定式により得られた数値を指標とする

$$\text{（寄附金受入額 + 雑収入受入額）} / \text{常勤教員数} ※$$

※常勤教員数は平成 30 年度の人数。

指標に用いるデータの定義等

○寄附金受入額

2018 年度（平成 30 年度）中に受け入れた寄附金の総額。

出典：2018 年度財務諸表（附属明細書）

○雑収入受入額

2018 年度（平成 30 年度）中に獲得した雑収入の総額。

出典：文部科学省高等教育局国立大学法人支援課調べ

施設マネジメント改革の推進状況

指標の概要

各機関における施設マネジメント改革の進捗状況について、施設の有効活用、適切な維持管理、サステイナブル・キャンパスの形成に向けた取組状況を各法人へ調査し、その回答に基づき、重点支援の枠組ごとに評価

指標の算定方法

①機関別の点数を算出

機関ごとに以下の観点を確認し、当てはまっている場合に加点

(1) 施設の有効活用【配点5点】

①施設利用状況調査の実施状況（1点）

（保有面積に対する調査対象面積の割合が8割以上かつ1年以内の周期で調査を実施している場合は1点）

②施設利用状況調査に基づく施設利用計画の策定と有効活用の実施状況（1点）

③講義室等の稼働率調査及び改善策の実施状況（1点）

④スペースチャージの実施状況（1点）

⑤改築や大規模改修を実施した建物におけるユーザーへの施設満足度調査等の実施状況と調査結果のフィードバック（1点）

(2) 適切な維持管理【配点7点】

①インフラ長寿命化計画（個別施設計画）の策定状況（1点）

（平成31年3月末までの早期に策定済みの場合は1点）

②建築基準法第12条第1項の規定等に基づく点検と改善計画の策定状況（1点）

③上記法定点検対象外建物における点検と改善計画の策定状況（1点）

（点検対象面積の50%以上かつ改善計画を策定している場合は1点）

④予防保全の実施状況（1点）

⑤施設の重要度・老朽化評価等による整備や維持管理の優先付けの状況（1点）

⑥多様な財源等による改修整備実績（保有面積比）（2点）

（上位30法人は2点、上位31～60法人は1点）

(3) サステイナブル・キャンパスの形成に向けた取組状況【配点3点】

①エネルギー使用量等の目標値を設定した費用抑制と「見える化」の実施状況（1点）

（「見える化」については、全ての主要キャンパスを対象かつ捕捉率80%以上かつ公表頻度月に1回以上の場合は1点）

②エネルギー消費原単位の削減状況（2点）

（5年度間平均原単位変化が98%以下は2点、98%超99%以下は1点）

②機関別の合計点を算出

各機関の点数を合計することにより得られた数値を指標とする

指標に用いるデータの定義等

○観点

文部科学省文教施設企画・防災部計画課整備計画室調査（令和元年6月）及び文部科学省高等教育局国立大学法人支援課調査（令和元年12月）における「施設マネジメントの推進状況調査」における設問及び回答。